

AMRアクションファンドが初の投資となる、 Adaptive Phage Therapeuticsと Venatorx Pharmaceuticalsへの投資を発表

この投資は、薬剤耐性菌の高まる脅威に対処するために2~4種類の新規抗菌薬を上市するというAMRアクションファンドの目標に向けた重要な一歩です。

抗菌薬の開発に取り組むバイオテクノロジー企業に投資する世界最大の官民パートナーシップであるAMRアクションファンド（AMR Action Fund）は、4日、Adaptive Phage Therapeutics（APT）とVenatorx Pharmaceuticalsに投資したと発表しました。これらは同ファンドにとって初の投資であり、世界保健機関（WHO）と米疾病対策センター（CDC）が特定した優先度の高い病原体に対する新たな治療法を市場に投入するという目標に向けた重要な一歩となります。

AMRアクションファンドのBill Burns理事長は「AMRアクションファンドは設立当初から、今やHIV/AIDSやマラリアより多くの人々が毎年命を落としている薬剤耐性（AMR）の高まる脅威に対処するため、今すぐ必要とされている治療法を生み出し、長期にわたるイノベーションを促す投資先を特定することに注力してきました。Adaptive Phage TherapeuticsとVenatorx Pharmaceuticalsを最初のポートフォリオ企業として迎えるのは、我々がこの重要な使命の達成に向け順調に歩みを進めている証です。」と語りました。

薬剤耐性菌による感染症は、毎年、推定127万人の直接的な死因となっています。これらの感染症は、2050年には約1,000万人もの命を奪い、世界経済に100兆ドルの損失をもたらすと予測されています。しかし、WHOが特定した優先度の高い病原体を対象とする治療薬はほとんど開発されておらず、抗菌薬開発への投資は世界の健康安全保障に対する脅威に追いついていません。こうした問題意識を持つ国際製薬団体連合会（IFPMA）加盟の20社以上の製薬会社は、WHO、欧州

本資料は、AMRアクションファンドが、2022年4月4日に発表したプレスリリース（<https://www.amractionfund.com/resources/amr-action-fund-first-investments>）を日本語に翻訳再編集し、皆さまのご参考に提供するものです。正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先されます。

投資銀行、ウェルカム・トラストと共に約10億ドルを調達し、AMRアクションファンドを立ち上げました。同ファンドは独立して運営され、10年以内に2~4種類の新規抗菌薬を患者に届けることを全体的目標として、バイオテクノロジー企業への投資を行います。

AMRアクションファンドのHenry Skinner CEOは「Adaptive Phage TherapeuticsとVenatorx Pharmaceuticalsは、薬剤耐性感染症の治療状況に変化をもたらし、患者に大きな利益を提供する準備を整えています。この投資は当基金にとって大きな節目ですが、活動は始まったばかりです。当基金は今年、最も緊急性が高く、満たされていない臨床ニーズを満たす可能性のある、臨床的に際立った抗菌薬を開発している企業に1億ドル超の資金を投入する予定です。また、スーパー耐性菌と闘い、世界中の患者が必要とする治療を受けられるようにするため、この先数年間、有望なバイオテクノロジー企業への投資を継続します。相当な額の投資ですが、当基金だけではAMRというグローバルな課題に立ち向かうには不十分です。世界中の政策立案者は、今こそこうした緊急に必要とされている医薬品への投資をサポートする市場改革を実行に移すべきです。」と語りました。

APTの取り組みは、細菌に感染して死滅させる自然発生ウイルスであるバクテリオファージを体系的に発見、選択、カタログ化し、キュレーションすることで、ライブラリーを増やしつづけるものです。このライブラリーを活用することで、優先度の高い薬剤耐性菌に対して幅広く対応できます。独自の感受性アッセイによって患者の感染症治療に適したファージがAPTのファージバンクの中から選ばれ、人工関節感染症、骨感染症（骨髄炎）、肺感染症など、さまざまな感染症で試験が行われています。AMRアクションファンドのAPTへの投資は、Deerfield Management Companyが主導するシリーズBラウンドの延長として実行されます。

APTのCEOであり共同創業者であるGreg Merrillは「AMRアクションファンドの最初のポートフォリオ企業の1つになれたことを大変嬉しく思います。ファンドが持つ

本資料は、AMRアクションファンドが、2022年4月4日に発表したプレスリリース (<https://www.amractionfund.com/resources/amr-action-fund-first-investments>) を日本語に翻訳再編集し、皆さまのご参考に提供するものです。正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先されます。

科学的・産業的専門知識を活用し、当社のファージベースの治療法を臨床試験へと進めていきたいです。」と語りました。

Venatorx Pharmaceuticalsのパイプラインには、薬剤耐性グラム陰性菌をターゲットとした点滴静注用および経口用のβラクタム/βラクタマーゼ阻害剤が含まれています。第III相段階にある同社の点滴静注用製剤Cefepime-taniborbactamは、複雑性尿路感染症（cUTI）、院内感染による細菌性肺炎、人工呼吸器関連細菌性肺炎の治療薬として開発が進められています。最近発表された第III相データでは、cUTI治療においてCefepime-taniborbactamがメロペネムより優れていることが示されました。AMRアクションファンドのVenatorxへの投資は、シリーズCラウンドの一部として実行され、Abingworth Managementが共同投資家として参加しています。

Venatorx PharmaceuticalsのChris Burns社長兼CEOは「今回の投資により、Cefepime-taniborbactamの承認に向けた体制を強化するとともに、当社のパイプラインの他製品の開発も推進できるようになります。」と語りました。

AMRアクションファンドのMartin Heidecker最高投資責任者は「抗菌剤は、緊急の医療ニーズがあり、各国政府が生命を救う治療を開発している企業を支援するために市場改革を進めると公言しているにも関わらず、ベンチャーファンドや他のプライベートエクイティに見落とされ、過小評価されてきました。Adaptive PhageとVenatorxへの投資は、われわれと同様に、薬剤耐性感染症の新たな治療法を追求している企業には大きな価値を生み出す可能性があると考えられる共同投資家との強力なパートナーシップの上に成り立っています。」と付け加えました。

詳細については、Chris Sweeney（chris.sweeney@amractionfund.com）までお問い合わせください。

本資料は、AMRアクションファンドが、2022年4月4日に発表したプレスリリース（<https://www.amractionfund.com/resources/amr-action-fund-first-investments>）を日本語に翻訳再編集し、皆さまのご参考に提供するものです。正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先されます。

▽AMRアクションファンドについて

AMRアクションファンド（AMR Action Fund）は、抗生物質、抗真菌剤や他の抗菌治療薬に投資する世界最大の官民パートナーシップです。同ファンドは、新たな抗生物質を市場に送り出すため、臨床段階にあるバイオテクノロジー企業に10億米ドルを投資する予定です。AMRアクションファンドのコンセプトは、国際製薬団体連合会（IFPMA）とそのメンバーであるバイオ医薬品企業が、世界保健機関、欧州投資銀行、及びウェルカム・トラストとともに考案したものです。AMRアクションファンドに投資する企業／組織は以下の通りです：アルミラール、アムジェン、バイエル、ベーリンガーインゲルハイム、ベーリンガーインゲルハイム財団、中外製薬、第一三共、エーザイ、イーライリリー・アンド・カンパニー、欧州投資銀行（2014-2020年の欧州連合（EU）の研究・イノベーションプログラム「Horizon 2020」に基づく欧州委員会の支援による）、グラクソ・スミスクライン、ジョンソン・エンド・ジョンソン、レオファーマ、ルンドベック、メラリーニ、メルク、MSD、ノバルティス、ノボノルディスク、ノボノルディスク財団、ファイザー、ロシュ、塩野義製薬、武田薬品工業、テバ、UCB、ウェルカム・トラスト。

本資料は、AMRアクションファンドが、2022年4月4日に発表したプレスリリース（<https://www.amractionfund.com/resources/amr-action-fund-first-investments>）を日本語に翻訳再編集し、皆さまのご参考に提供するものです。正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先されます。